

高根沢町中学生文化スポーツ振興計画(案)

栃木県高根沢町教育委員会

I 現状

1 全国

- 全国では、次のようなことが起きているため、地域展開等を進めようとしています。
- (1) 少子化により、部員数が減少し、団体戦に出られない、練習試合ができないなど、満足のいく活動ができない。休部や廃部もある。
 - (2) やってみたい部活が学校にはなかったが、近くの学校にはあった。
 - (3) 競技経験や指導経験のない教職員が指導している場合があり、専門的な指導を受けられない。
 - (4) 部活動指導による残業時間について、働き方改革が求められている。
 - (5) 色々なスポーツや文化を体験してみたいが、学校は1つの部活に限られてしまっている。
 - (6) 引退後、進学まで続けられる場所がない。

2 本町の現状

(1) 少子化

生徒数の減少が見られますし、運動部活動加入率も減少が続いています。廃部になる部活動が出てきたり、廃部にならなくても団体戦に出られないなどの制限が多くなる可能性があります。

(2) 下がる加入率

本町は、国や県に比べて加入率は高いですが、加入率の減少が続いています。

(3) 部活動にはない種目への参加

部活動にはない種目に参加している中学生がいます。徐々に増えています。

3 アンケート結果

令和6(2024)年3月に、小学校4年～中学校2年の児童生徒、及びその保護者、教職員を対象に「高根沢町における休日の中学校部活動の地域移行に関するアンケート」を実施したところ、次のような特徴がありました。

- (1) 児童生徒さんの希望は、学年が上がるにつれて、休日の部活動に参加したい割合が減っています。
- (2) 地域に移行する肯定度は、児童・生徒も保護者も、他市町と比べて、著しく高くもないし、著しく低くもないと言えます。

II 基本方針

1 目標

(1) 基本目標

子どもたちのために、地域が協力して豊かなスポーツ・文化芸術活動を実現します。

(2) 活動目標

令和11(2029)年度までに、町内中学校の休日の部活動を全て地域クラブ活動にすることを目指します。

2 部活動

高根沢町中学校部活動の在り方に関する方針(H31.3)に準じます。

資料 5

3 地域クラブ

高根沢町学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する方針(R7.11)に準じます。

III 具体的施策

1 推進体制の充実

- (1) 教育委員会は、地域展開等に関わるすべての団体と連携をとり、地域展開等を円滑に進めるための体制や条件の整備に努めます。
- (2) 学校は、生徒が在籍している学校との情報交換や、指導者・保護者と連携を取る懇談会などの連携システムを構築します。
- (3) 保護者の皆さんには、お子さんが充実した地域クラブ活動を送ることができるよう、心的・物的支援に努めるとともに、保護者会の運営、お子さんの移送などの条件整備に積極的に加わっていただくような体制を整備します。
- (4) 指導者の皆さんは、学校部活動が担ってきた教育的意義を継承・発展するよう、心身の発達など成長期にある生徒の特徴を踏まえた指導やセクハラ・パワハラなど不祥事防止、連絡アプリの操作などの研修により指導者の質を確保します。
- (5) 学校・保護者・指導団体にもコーディネーターを配置し、町教委・学校・保護者・指導者が円滑に連携する体制を作ります。

2 指導者の育成

持続可能な活動を目指すために、1クラブに複数名の指導者を配置できるよう指導者の量の確保に努めます。また、定期的な研修を実施し、指導者の質の確保にも努めます。

3 内容の充実

- (1) 競技型を目指すのか、エンジョイ型を目指すのかは、生徒を中心に話し合います。
- (2) 1週間の中で複数種目を活動するクラブを設けます。
- (3) 夏季や冬季だけ活動するシーズン制のクラブを設けます。
- (4) その種目だけでなく、クラブ発表会やボランティア活動、レクリエーション、イベント参加など、体験機会を増やします。
- (5) 当初は、中学生を対象としていますが、少子化が進むと、小学生のクラブチームと合体したり、高校生が参加したりします。
- (6) 単一種目の競技志向が強い種目は、他市町のクラブを紹介するなどして、情報提供のみにとどめます。

4 費用

参加費は、公的負担により、平日に展開されても保護者が負担にならない低廉な価格を設定します。保険は、生徒・保護者・指導者は損害賠償責任がついた保険に全員加入します。持続可能な経営を目指すために、財源の確保、法人化など運営主体の組織を強化させます。

5 施設

町内の公共施設を地域クラブが利用できるよう条件や体制を整備します。

6 大会参加

中体連や各競技団体、民間事業者が主催する大会に、町内クラブがスムーズに出場できるように支援します。

7 経過と今後のスケジュール

このスケジュールは、国・県の動向や高根沢町の実情に応じて柔軟に調整しながら、持続可能な地域展開等を目指します。

コメント 1

齋藤 能光

第1回会議(R7.12.18)で意見が多かった部分
町が競技型、学校がエンジョイ型を展開すれば
→課内打合せ(R8.2.26)で、この図を削除

資料 5

年度	概要	主な取組内容
R 5 (2023)	準備期間	・庁内担当決定 ・アンケート実施
R 6 (2024)		・コーディネーター配置 ・部活動地域移行推進委員会設置 ・ブカツのミライNo.1 発行
R 7 (2025)		・方針策定 ・中学生文化スポーツ振興協議会設置 ・ブカツのミライNo.2 発行
R 8 (2026)	休日の一部地域展開式行	・計画策定 ・認定クラブの条件整備 ・人材バンクの設立 ・合同部活動・拠点校部活動の検討
R 9以降 (2027)		・全ての休日部活動を準備や体制が整った部から、順次地域クラブに展開する。 ・平日の部活動については、状況に応じて地域クラブに展開する。

IV 策定協力者

令和7年度高根沢町中学生文化スポーツ振興協議会委員

No.	役職	氏名	所属
1	委員長	坂本 美知夫	教育長
2	副委員長	青木 友宏	中学校長
3	副委員長	荒井 武士	中学校長
4	委員	藤田 裕二	中学校 PTA 推薦
5	委員	齋藤 拓真	中学校 PTA 推薦
6	委員	永井 秀紀	スポーツ推進委員代表
7	委員	佐藤 茂	スポーツ協会推薦
8	委員	伏木 友子	文化協会推薦
9	委員	小堀 秀一	社会教育委員代表

令和8年度高根沢町中学生文化スポーツ振興協議会委員

No.	役職	氏名	所属
1	委員長	坂本 美知夫	教育長
2	副委員長	青木 友宏	中学校長
3	副委員長	荒井 武士	中学校長
4	委員	笹沼 浩美	中学校 PTA 推薦
5	委員	齋藤 拓真	中学校 PTA 推薦
6	委員	永井 秀紀	スポーツ推進委員代表
7	委員	佐藤 茂	スポーツ協会推薦
8	委員	伏木 友子	文化協会推薦
9	委員	小堀 秀一	社会教育委員代表